

事業評価調書（新規）

部課室名	水産課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	水産課長 大谷 和夫 (課長補佐兼漁場整備係長) (高木 英男)	内線	4149 (4163)
------	-----	---------------------	--	----	----------------

事業種目	漁場整備開発	事業名	事業区間	総事業費	3億円	
		増殖場造成事業	五色地区	内用地補償費	- 億円	
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
洲本市五色地先				H19	H19	H21
事業目的			事業内容			
<p>瀬戸内海では、海面の埋め立てによる浅海域の藻場の減少によって、稚魚の成育環境が悪化し、再生産力が低下している。また、限られた漁場で多くの漁船が操業するため、水産資源の減少が懸念されている。</p> <p>よって、水産資源の維持増大を図るため、自然石、コンクリート礁を設置し、稚魚等の育成に適した増殖場の造成を行う。</p>			<p>対象生物：メバル、カサゴ、スズキ、カレイ 事業量：22ha (自然石、コンクリート礁、鋼製礁) 事業主体：兵庫県 事業費内訳：国：1/2，県：1/2</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<p>当地区では、近年漁業生産量が低下しており、漁業経営は苦しい状況にある。このことから、漁業生産量の維持増大により漁業経営の安定化を早急に図る必要がある。</p> <p>メバル、カサゴ、スズキ、カレイは、比較的魚価が高く、地元の水揚げにとって重要な魚種であり、当該魚種を水揚げする漁業に携わっている受益者は、当地区の漁業者の68%を占めている。</p> <p>増殖場の造成によって、年間の漁業生産量は48トンの増産が見込まれ、漁業が重要な産業である当地区の地域活性化への貢献が高い。</p>					
(2)有効性・効率性	<p>水産物の増産期待量及び漁家所得の増加期待額の増大見込みから算定した費用便益比(B/C)は1.53であり、事業の有効性は高い。</p> <p>資源増大に対する地元漁業者の期待が高く、事業実施時の協力を得ることができる。</p>					
(3)環境適合性	<p>増殖場造成による生物量、藻場の増大により、周辺海域の環境の修復・創造が期待される。</p>					
(4)優先性	<p>五色周辺海域は、メバル、カレイ等にとって貴重な育成場所となる藻場や磯場が点在している。これらの場所との相互作用が期待される当地区での事業実施は淡路西部海域全域の水産資源の増大につながる重要な事業である。</p>					